



Sharing Energy with the World

Energy supports everyday life and society.
Providing energy when and where it's needed,
Is our greatest responsibility.

2011年3月期 第2四半期決算資料

環境認識

		2009年 3月末時点	2010年 3月末時点	2010年 9月末時点	3月末差
DUBAI原油	&/bbl	46.70 (3/31時点)	78.70 (3/31時点)	77.35 (9/30時点)	△ 1.35
通関CIF原油	円/KL	26,898 (3月平均)	43,382 (3月平均)	40,465 (9月平均)	△ 2,917
CP(プロパン)	\$/トン	470 (3月分)	730 (3月分)	630 (9月分)	△ 100
為替(TTS)	円/\$	99.23 (3/31時点)	94.04 (3/31時点)	84.82 (9/30時点)	△ 9.22
元売系列SS数	カ所	31,831	30,339	29,668	△ 671
全国燃料油販売数量	千KL	201,060	194,933	91,754 (前年89,867)	102.1% (前年同期比)

業界動向

- 今夏の猛暑により、販売数量はガソリンを中心に好調
⇒ 上期国内販売数量:前年比+2.1%(GA+2.7%、WK+10.7%、GO+2.8%)
- エネルギー供給構造高度化法による精製能力の削減
- 地下タンク補強規定(2013年1月末)によるSS運営者への負担増
- 7月にJXグループ誕生
6月より下限仕切り底上げを狙い、価格フォーミュラを改定
- 他の元売各社も好環境の中、上期決算は改善
- CP価格高値で推移(プロパン:4月725\$/トン、9月630\$/トン)
- 政府の景気刺激策効果で一部産業の需要は上向き
- タンカー運賃市況の低迷が継続
- 消費者のエネルギーに対する目が厳しくなり、自らがエネルギーを選択

連結損益計算書

(単位: 億円)

	2010年3月期	2011年3月期			前年同期比
	上期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	
売上高	4,806	2,735	2,655	5,390	112%
営業利益	4	5	16	21	591%
経常利益	6	10	16	27	421%
四半期純利益	8	△ 1	8	7	84%

POINT

- 【 売上高 】 売上単価の上昇
- 【 営業利益 】 事業再編や経営効率改善による経費削減
- 【 経常利益 】 持分法による投資利益の増加
- 【 四半期純利益 】 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(第1Qに計上)

連結貸借対照表

(単位:億円)

	2010年3月末	2010年9月末	増減額
流動資産	1,606	1,347	△ 259
固定資産	1,025	1,018	△ 6
流動負債	1,402	1,040	△ 362
固定負債	309	413	104
純資産	921	913	△ 8
総資産	2,631	2,365	△ 266

POINT

【流動資産】 売上債権の減少

【流動負債】 仕入債務の減少、短期借入金の返済による減少

【固定負債】 社債発行

【純資産】 配当金の支払、有価証券評価差額金の減少、利益剰余金増加

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2010年3月期 上期実績	2011年3月期 上期実績	増減額
営業活動CF	△ 17	50	66
投資活動CF	△ 18	△ 15	3
財務活動CF	△ 128	△ 37	90

	2010年3月末	2010年9月末	増減額
現金同等物 期末残高	270	273	3

POINT

【営業活動CF】 税引前利益、資産除去債務適用の影響額、売買資金収入、
 売上債権の減少、棚卸資産の増加など

【投資活動CF】 CS設備投資等による有形固定資産の取得

【財務活動CF】 借入金等の有利子負債の返済、配当金支払による支出

連結販売数量（主要6品目）

（単位：千kl、千t）

	2010年3月期 上期実績	2011年3月期 上期実績	前年同期比
ガソリン	2,085	2,017	97%
灯油	545	433	79%
軽油	1,527	1,464	96%
重油	1,997	2,271	114%
燃料油【計】	6,154	6,185	101%
アスファルト	118	102	87%
LPガス	312	314	100%
【総計】	6,584	6,601	100%

POINT

- 【 ガソリン 】 TR需給部海上スポット取引の減少、CL卸事業は前年比101%
- 【 重油 】 TR営業力強化による船舶燃料の増販
- 【アスファルト】 今春の悪天候と公共事業削減により減販

セグメント別情報

(単位: 億円)

		2010年3月期	2011年3月期			前年同期比
		上期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	
IM	売上高	418	249	241	490	117%
	営業利益	7	2	4	6	91%
CL	売上高	2,328	1,271	1,305	2,577	111%
	営業利益	5	3	11	13	286%
TR	売上高	1,702	983	918	1,901	112%
	営業利益	△ 4	△ 3	3	0	↑
HL	売上高	359	228	185	413	115%
	営業利益	7	8	2	10	134%
消去・全社	売上高	-	4	4	8	-
	営業利益	△ 12	△ 5	△ 4	△ 8	↑
連結	売上高	4,806	2,735	2,655	5,390	112%
	営業利益	4	5	16	21	591%

2010年度の位置付け

Core & Synergy2010最終年度、仕上げの年

基本方針

グループ力の結集によって、垂直・水平方向のグローバル展開を図り石油・LPG分野での収益基盤の再構築を図る。本中計の基本方針堅持。トレード事業並びにコーナンフリートの収益体制を確立、JGE効果の更なる追求により、稼ぐ力＝営業利益を必達。

- 石油流通分野におけるプレゼンス確保 -

<重点方針 i>

エリア戦略の展開

【新・経営管理体制】

企画開発本部・経営管理本部

<重点方針 ii>

エネルギー総合提案型
ビジネス構築

<重点方針 iii>

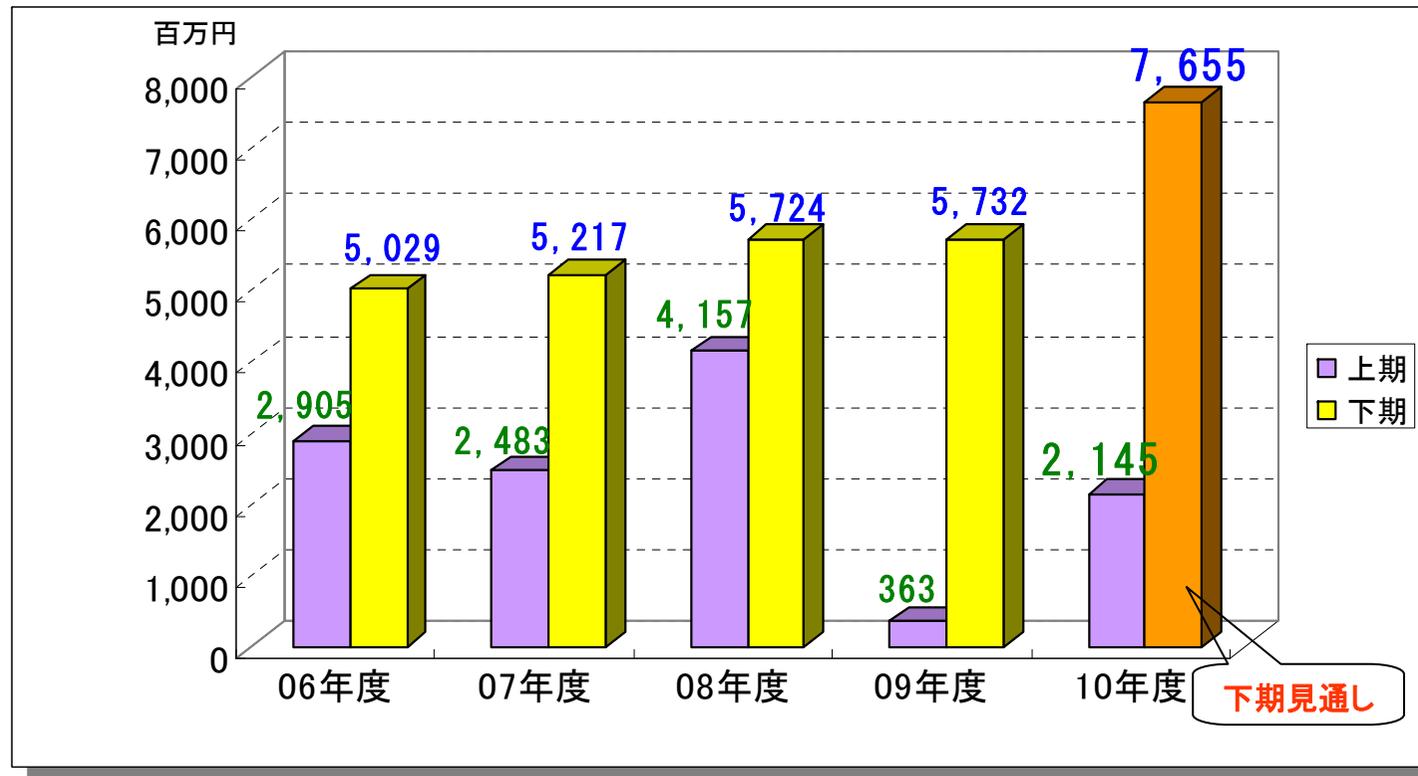
戦略投資分野

<重点方針 iv> 経営理念「社会とくらしのパートナー」の実践

新たなステージ創り

創立50周年を迎える本年度、50年間の検証を集約し、新たなステージで広義のエネルギー新規ビジネス創造に向かって前進する。

連結営業利益推移（2006～2010年度）



■ 営業力の回復

産業マテリアル事業

(単位:億円)

	2011年3月期 上期実績	2011年3月期 通期見通し	(参考) 前年上期実績	(参考) 前年通期実績
売上高	490	1,030	418	977
営業利益	6	20	7	16

《上期の状況》

◇ 環境ビジネスの取組み強化

(アブルー好調、E・COOL販売開始、特定規模電気事業者[PPS]登録完了)

◇ LNG販売好調 前年比 191%

《下期の取組み》

- エリア戦略の更なる推進による新規顧客獲得と拡販
- 物流機能強化による面戦略の拡大(配給船ビジネス・新規アスファルト基地建設)
- 電力事業、地下水事業の取組み強化

カーライフ事業

(単位: 億円)

	2011年3月期 上期実績	2011年3月期 通期見通し	(参考) 前年上期実績	(参考) 前年通期実績
売上高	2,577	5,500	2,328	5,055
営業利益	13	49	5	34

《上期の状況》

◇ グループ会社の体質強化

(コナンフリートの収益改善、不採算CSの撤退[21CS]、CSの更なる業態化)

◇ 販社体制の再編(5販社体制から4エリア販社体制へ)

◇ CS機能の充実(車関連事業の強化)

《下期の取組み》

■ 販売数量の拡大、適正利幅の確保、営業力強化

■ エリア戦略の深耕、グループ会社の収益拡大

トレード事業

(単位: 億円)

	2011年3月期 上期実績	2011年3月期 通期見通し	(参考) 前年上期実績	(参考) 前年通期実績
売上高	1,901	3,730	1,702	3,941
営業利益	0	16	△ 4	△ 3

《上期状況》

- ◇ 石油製品トレード(グループ会社との取組み強化)
- ◇ タンカー傭船(運航の効率化の推進)
- ◇ 船舶燃料販売(営業力の強化を図り販売数量の増加)

《下期取組み》

- 石油製品トレード(国内の物流網を整備しグループ会社との更なる取組み強化)
- タンカー傭船(効率的運航の追求、短期タイムチャーターアウトによる利幅確保)
- 船舶燃料販売(輸入コストの削減、外船主への営業力強化)

ホームライフ事業

(単位:億円)

	2011年3月期 上期実績	2011年3月期 通期見通し	(参考) 前年上期実績	(参考) 前年通期実績
売上高	413	940	359	864
営業利益	10	39	7	34

《上期の状況》

- ◇ FC・ソーラーの販売強化、次世代に備えたノウハウ構築
- ◇ 物流の合理化(全国2ヶ所で他社との協業)

《下期の取組み》

- “選択と集中”により効率化推進及びシリンダー卸の拡販
- W発電を中心とした環境商材の取扱いによるリフォーム事業の推進(アスクラスとの連携強化)
- エリア会社の競争力強化 (i-Bingo、G-Bingoの更なる活用により業務の効率化)

2011年3月期通期見通し

(単位:億円)

	2011年3月期 上期実績	2011年3月期 通期見通し	(参考) 前年上期実績	(参考) 前年通期実績
売上高	5,390	11,200	4,806	10,838
営業利益	21	98	4	61
経常利益	27	102	6	70
当期純利益	7	38	8	44

◎セグメント別営業利益2007年3月期対比

(単位:億円)

	2007年3月期通期実績	2011年3月期通期見通し
産業マテリアル	19	20
カーライフ	65	49
トレード	< 9 >	16
ホームライフ	20	39
共通	△ 34	△ 26
合計	79	98

※2007年3月期実績は現在の組織で組み替えております

ベストミックスのECOエネルギーの暮らし

環境性

一次エネルギー(石油など)
 消費量は約33%削減、CO₂
 排出量約45%削減

省エネ

大切なエネルギーをロスなく
 使い、無駄なく発電

経済性

光熱費を節約するだけでなく発電した
 電気を売ることも出来るので、とっても
 経済的

快適性

自分の家で“電気とお湯を
 つくる”から、年中いつも快適

天と地の恵みを生かした W発電
 エネルギーを効率よく使う住宅へ...

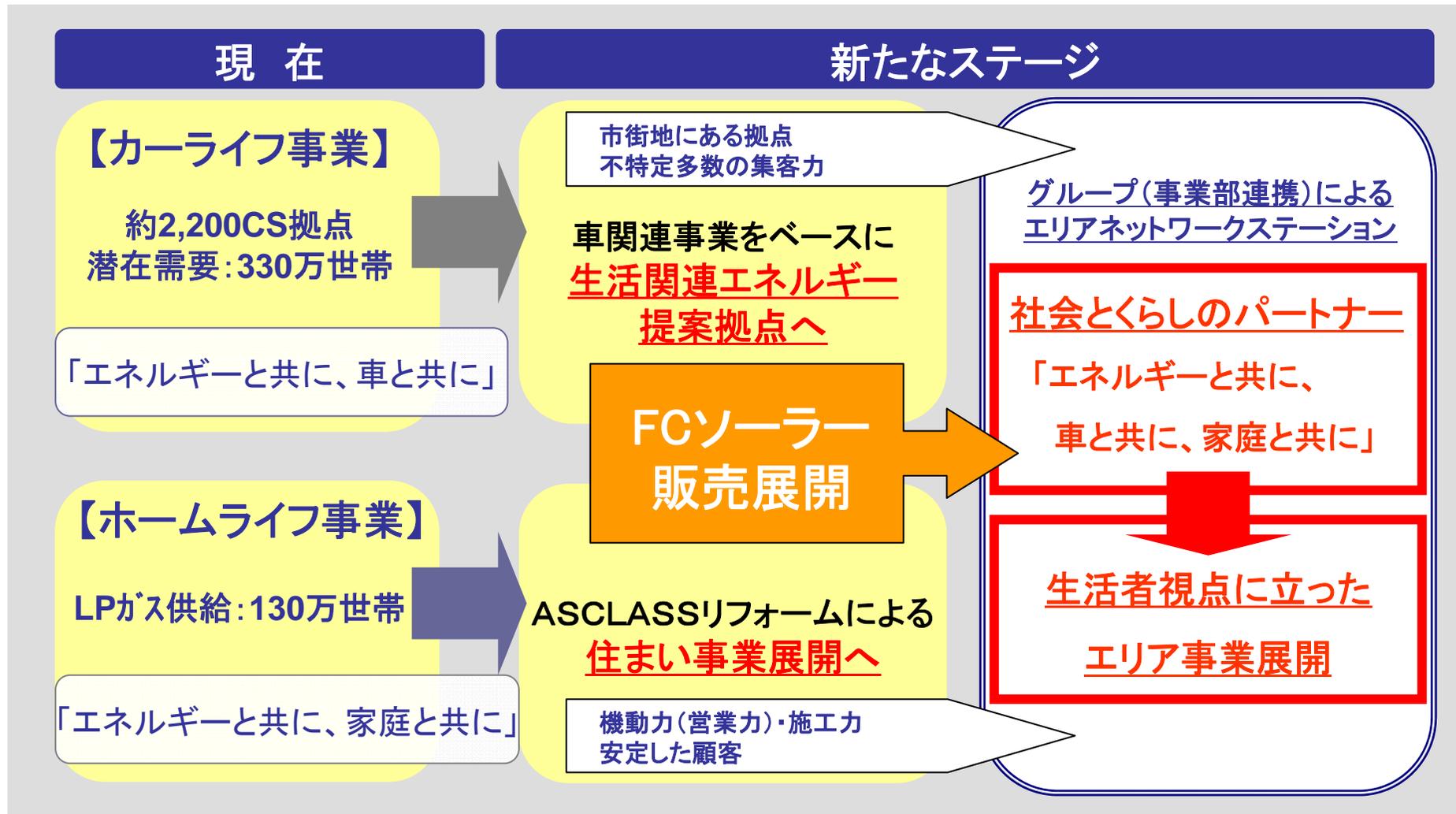


太陽光発電と燃料電池を組み合わせたW発電を活用することで、家庭での「創エネ」のメリットを最大化。さらに「蓄エネ」も加えることでメリットは大きくなり、次世代低炭素社会の家庭に最適なecoエネルギーシステムの実現につながります。

有効利用
 余った電気を蓄電

HEMS(系統装置)を開発中

新たな事業展開<エネクスの事業展開構想>



伊藤忠エネクス株式会社 2011年3月期 第2四半期決算資料

新たな拠点創り (カーライフ)



新たな拠点創り（ホームライフ）



FCソーラー販売実績

		2011年3月期		2010年3月期
		通期目標	上期実績	通期実績
販売実績 (台数)	PV	1,000	517	361
	FC	200	38	150
	(KW)	4,000	2,303	1,394
売上高 (百万円)		2,100	1,410	1,151



(1)ご注意

●資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

●また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

(2)問い合わせ先

伊藤忠エネクス株式会社 IR広報室
【TEL】03-6327-8003 【FAX】03-5418-2204
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com